

教祖140年祭
三年千日の
活動方針

「教祖のひながたを目標に
全教会心定めの達成」

◇全教一斉ひのきしんデー◇

4月29日(月・祝)日々お借りしている身体に感謝して
家族でひのきしんに汗を流しましょう!!
各支部の集合場所などの詳細は下記QRコードを
読み取って頂き、ご確認ください。



大教会のHPがご覧になれます!
月報には掲載されない写真もいっぱいです!
ぜひ一度ご覧下さい♪



発行所
天理教網走大教会
布教部出版広報掛
〒093-0073
網走市北3条西6丁目
TEL 0152-43-2227
FAX 0152-44-2227

大教会三月月次祭

大教会3月の月次祭は、12
日午前9時30分から大教会長
祭主のもと、執行された。
大教会長は祭文で、親神様
の御守護に御礼申し上げた後、
「私共を始め教会長・ようほ
く一同は、年祭活動本番のこ

の時旬にしっかりと地に足をす
え、心定め完遂を強く念じて、
一歩ずつ確実に前へ歩んでい
く所存でございます。」と奏
上した。
その後座りづとめ・十二下
りのてをどりが勤められ、参
拝者は共に勇んでみかぐらう
たを唱和した。

夫婦の雛型にしよう、先ず
これを引き寄せ、その一すじ
心なるを見澄ました上、最初
に産みおろす子数の年限が経
つたなら、宿し込みのいんね
んある元のやしきに連れ帰り、
神として拝をさせようと約束
し、承知をさせて貰い受けら
れた。

神殿講話

大山雅人 役員



神殿講話全文

込めさせて頂いております。

さて、元の理の拝読ですが、
読むだけなら毎日つとめさせ
て頂けるのですが、心へのお
さめ方がスッキリしないでお
りました。

そのような中で、少し勉強
させて頂いたことがあります。
天理教教典 第三章「元の理」
の冒頭ですが、

この世の元初まりは、どろ

海であった。月日親神は、こ
の混沌たる様を味気なく思召
し、人間を造り、その陽気ぐ
らしをするのを見て、ともに
楽しむうと思いつかれた。

そこで、どろ海中を見澄ま
されると、沢山のどぢよの中
に、うをとみとが混つている。

地球は約四十六億年前に、
太陽系の一つの惑星として誕
生しました。その原始のどろ
海の中で、約三十五億年前、
藍藻と細菌という二種類の原
核細胞が出現しました。

けれども、雌雄性を持たな
い二種類の原核細胞は、二十
数億年という長い年月で、自
己複製という数を増やすだけ
の味気ない時代を過ごさねば
ならなかったのであります。

そして、約九億年前、原始
地球のどろ海にあった、藍藻
と細菌という二種類の原核細
胞を雌雄性の材料として、真
核細胞による有性生殖が始
まったのであります。

生物の一切が存在する出発



少年会

○少年会お泊り会

1月9・10日、冬休みにもお泊り会を開催した。

1日目は、おてふりや鳴り物の練習をし、夜のお楽しみ行事では「室内オリンピック」で楽しんだ。

2日目は、教祖カルタや大福作りをし、子どもたちは作った大福を持ち帰り、両親へのお土産とした。

コロナ禍以来の開催に、多くの子どもたちが参加し大教会を賑わした。

▼参加者 少年会員28名
育成会員15名



○第8回少年会総会

3月20日、第8回天理教少年会網走団総会を開催した。祭儀式が始まり、祭主をつとめた三幣公信くん(女満別・中3卒)は、緊張した面持ちで、祭文を奏上。その後、座りづとめ、よろづよ八首をつとめた。

この日を目指し練習を重ねた少年会員たちは、練習の成果をしっかりと発揮することができた。

その後、少年会長様の御告辞を大教会長が代読。続けて大教会長からお話しを頂き、その後、団長より3名の卒業生会員に贈る言葉と記念品を贈呈し閉会した。

▼参加者 少年会員25名
育成会員13名



立教187年 人のご守護 心定め			
初席者	ようぼく	修養科修了者	教人
60名	29名	18名	11名
成 果 (3月末現在)			
1名	1名	0名	0名

修養科事後研修会(網走『ひながた』セミナー)ご案内

このセミナーは、修養科を修了して、教人資格講習会を受講し、「ようぼく」から「教人」へと成人するための事前セミナーです。

最近、修養科を修了された方、また、以前に修了された方を含め、改めて「おやさまのひながた」を学び、日々の信仰生活をより一層、喜びや笑顔に満ちた「陽気ぐらし」へ、向かってみませんか。

【資格】修養科修了者
【今年の開催日】1泊2日(1日目13時開講、2日目12時30分閉講)
※年に2回開催予定
○第1回 5月18日(土)～19日(日)
○第2回 11月16日(土)～18日(日)

【内容】「おやさま物語」でひながたを学ぶ、教祖伝逸話篇の講義とねりあい、「よろづよ八首」講義、「ようぼくの使命」講義、教人資格講習会案内、など

【会場】網走大教会
【受講お供え】1人3,000円
【お申し込み】所定の申し込み書を細木善信(布教部)へ提出 [090-2072-6130]

○中席者 實東 今野 明佳
直轄 瀬川 ひかる (2月1名)

3月人のご守護

教祖140年祭

点となりました。そして、単純細胞から、多細胞生物への進化という、約三億年の年月を経て、約六億年前に原始魚類が姿を現しました。そして、魚から虫、鳥、畜類、猿から人へと生物進化が繰り返り広げられました。

おつとめの第二節、「このよふのぢいとてんとをかたどりてふうふをこしらえきたるでなこれはこのよのはじめだし」と唱えられるところであります。

その後の六千年は智慧の仕込み、三千九百九十九年は文字の仕込みと仰せられるように、時を経て私たちは今この世に住まわせて頂いております。「ここはこのよのごらくや」と仰せられます。

真柱様は、論達第四号において「家庭や職場など身近なところから、にいがけを心掛けよう」と仰せられました。又、昨年の秋の大祭において、真柱様は、「一旦休んでいようぼく」という言葉を使われました。私自身を含め、お互い様に、「一旦休んでいようぼく」となっていないかと反省させて頂き、結構な

「春の学生おぢばがえり」が3月28日、本部中庭で行われた。式典では真柱様のお言葉を、表統領・中田善亮先生が代読下された。

式典終了後、本部からゴミ拾いをしながら詰所まで戻り、午後からは、直属アワーが行



春の学生おぢばがえり

日々の中で、「当たり前」の中に喜べることを見つけ、明るい心をもって日々を通らせて頂き、まずは、来月の教祖誕生祭を目指して、教祖年祭活動二年目を勇んで一歩一歩進ませて頂きましょう。



われた。大教会長のお話を三幣正志・学生担当委員会委員長が代読し、昼食に焼肉を頂き解散した。

▼参加者 学生12名
育成者2名

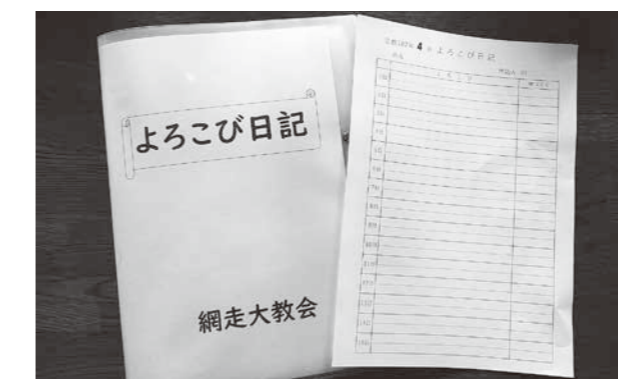


こかん様に続く会

3月28日、こかん様に続く会を網走詰所で開催させて頂いた。

支部長から、こかん様のお話を聞かせて頂き、再来年行われる女子青年大会に向けて声掛けをさせて頂いた。

▼参加者5名・担当者1名



よろこび日記

今年1月から、部内教会長夫妻が「よろこび日記」をつける活動を行っている。毎日夕づとめ後に、本日喜べたことを思い浮かべ、その項目を大教会から配られた日記帳に記載し、それをもとに毎月の大教会でのねりあいの題材にするというもの。

教会長夫妻が喜び心をもって勇んでおたすけ活動に臨むことが年祭活動に向けて重要な事柄であり、その勇み心が周りに広がっていくことを目指している。

徳道 奥村謙一
誠網 中島朋子
中島亜紀

○おさづけの理拝戴者(1名)
(3月4名)

誠網 木沢巴菜
○修養科志願者 (1名)

直轄 大重久恵
○おまもり下付願 (1名)

○をびや許し願 (2名)

三幣正志様 (長男中学校卒業)

育英会寄付者

神山まるごと高等専門学校
直轄 瀨川理楽

札幌第一高等学校
直轄 谷宥佑

大教会3月の動き

1日 役員会会議。会長、
災救隊出動(珠洲市
7日まで)

2日 お話し会
3日 縦の伝道日
8日 会長、大木会出席

9日 網走支部教会長布教
所長懇談会会場

10日 役員会会議
11日 教祖140年祭網走おた
すけ委員会会議。育
成部部会

12日 月次祭。役員会会議。
連絡会

13日 春季霊祭。修養科事
前研修会網走よろこ
びセミナー(15日まで)

16日 会長、札幌方面直轄
信者まわり。(18日
まで)

17日 縦の伝道日。支部婦
人会例会会場

18日 会長、札幌方面直轄
信者まわり(20日ま
で)。縦の伝道日

20日 少年会総会
23日 会長、おどぼがえり。
詰所23会

24日 会長、本部神殿奉仕
つとめる。縦の伝道
日

25日 会長、本部災救隊会
議出席。陽気ぐらし
講座研修会(26日ま
で)

26日 本部月次祭遙拝。結
城和広役員、本部神
殿奉仕つとめる。TV
S四日市サッカー部詰
所来所(28日まで)

27日 会長、春季霊祭参拝
かなめ会出席、一期
講師直前研修会(31
日まで)。藤山重善役
員、本部神殿奉仕つ
とめる

28日 学生会直属アワー
(詰所)

29日 大教会一斉活動日
みそか会。縦の伝道
日

31日

春季霊祭

春季霊祭は3月13日午前10
時より、神殿の儀が行われ、
てをどり終了後、祖霊殿の儀
が執行された。

このたび、直轄・紺野真理
子の霊様が合祀された。

Table with columns for location (前方), participants (前, 半, 後), and names of those involved in the service.

立教187(令和6)年人のご守護成果表 (3月末現在) - Summary table of spiritual care results by church and member type.

3月 月次祭 3/12(火) - Detailed table of the monthly festival participants and roles.